

# 進路に回りで役立てる

## 卒業生講話で仕事面など聴く

【美深】美深高等養護学校（大泉真哉校長）

の卒業生講話が、22日午前10時半から同校で行われ、在学中に取り組むべきことなど、今後の進路に向けて役立てた。

3年生を対象とした卒業生講話で、卒業後の実際を聞きながら、働く力や生活する力を身に付けることが狙い。毎年、現場実習の前に実施している。

全学科の26人が受講し、講師は36期（2021年度）築業科卒業生の安西大和さんが務めた。

安西さんは名寄市内で勤務（一般就労）。自宅から仕事を通勤

している。在学中は卓球部の部長を務め、「ミーティングの時、みんなに話し合っていましたが、相手に物事を伝える方法が身につきました」と語った。

生徒たちからの質問に答え、仕事面で積極的な行動をするために「誰かがやってくれる」のではなく『自分がやる』という気持ちで、人任せにしないことが大切』。

高校で身に付いたことで仕事に役立つたことでは「仕事をして第

一に感じたのは、体力づくりをやっていたのが良かったたと思います。一日仕事をやり切るために体力を付けることの大切さを感じました。

仕事中、丁寧な言葉遣いを意識し「相手が同じような年齢でも的な行動をするために『です、ます』で話しています」。

また、仕事が終わって後に自動車学校へ通い、免許を取得したことも語った。

（中村）

在学中に取り組むべきことなどを話した  
安西さん

余暇では、お金の管理や使い方で気を付ける点で「欲しいものがあった時、本当に必要なものか、今すぐ買わなくてよいものか、後のことよく考えてから買つようにしていいます。学生のうちにお金の大切さを学んでほしい」と促した。

現場実習が9月2日から27日まで行われることを前に「緊張するとは思いますが、緊張しました。私はこれまでに学校で取り組んでいることを生かして、どのような仕事をして、どのよ

うに成功すると思いでいけば成功すると思います」と呼びかけていた。

